

# 日本海スルメイカ漁場開発調査

(東奥丸・イカ類漁場調査、青鵬丸・漁群情報速報事業)

赤羽 光秋・十三 邦昭・仲村 俊毅・黄金崎栄一

## 発 表 誌 名

イカ釣漁場開発調査資料XI(昭和61年3月)及び昭和60年度外洋性イカ(スルメイカ・アカイカ)に関する生物測定・標識放流・海洋観測基礎資料集

## 抄 録

昭和60年6月～12月の期間、試験船東奥丸と青鵬丸によって漁場調査を実施した。

1. 本県日本海の対馬暖流の勢力は昨年を上回ったが、例年と比較するとやや弱勢に推移した。
2. 期間中東奥丸で23回、青鵬丸で43回、計66回の漁獲試験によりスルメイカ6,410尾が漁獲された。漁獲尾数は昭和59年並だったが、漁獲努力量は低下した。
3. 6月の魚体は昭和59年より大きかった(外套長モード19cm)。年間を通した群の特徴として7月～8月にかけて、成熟個体の比率が高かった。
4. 日本海からの総水揚げは28,674トンで昭和59年並であった。